



古今亭文菊

独演会

2026年9月6日(日)

14:00開演 (13:30開場)

だいしほくえつホール

(第四北越銀行本店内)

◆入場料【全席自由】

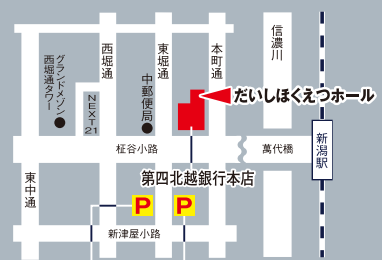
【一般】前売り2,000円 当日2,500円

【学生】前売り 500円 当日1,000円

【ペア】前売り3,000円 (1枚当たり1,500円/前売りのみ)

※前売り券が完売の場合、当日券はありません ※未就学児の入場はご遠慮ください

●だいしほくえつホールのご案内



- 新潟駅より車で5分。
- 新潟駅より新潟交通バス 萬代橋ラインで「本町」下車、徒歩1分。
- 会場に駐車場はありません。
- 提携駐車場「バラカ 新潟市東堀第7」「バラカ 新潟市東堀第11」をご利用されますと、駐車料金が1時間分無料になります。

古今亭 文菊 ここんてい ぶんぎく

端正で品のある語り口と、登場人物を丁寧に演じ分ける表現力を持ち味とする落語界の貴公子。言葉と間によって情景を鮮やかに描き出す高座は、高い評価を受けている。

2002年11月に古今亭圓菊に入門し、2003年1月に前座名「菊六」として楽屋入りする。2012年9月には入門10年目という異例の速さ、28人抜きでの抜擢で真打へ昇進し、「古今亭文菊(ここんていぶんぎく)」と改名する。

2008年「落語一番勝負若手落語家グランプリ」、2009年「NHK新人演芸大賞」、2012年「浅草芸能大賞新人賞」、2015年「第70回文化庁芸術祭賞大衆芸能部門 優秀賞」、2020年・2021年「国立演芸場花形演芸大賞」など、その実力から数多くの賞を受賞している。